

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長氏名	曾利 晋三	生徒指導主事氏名	大前 浩昭
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『縦割り学級合唱練習』**取組のねらい 『異年齢交流』**

異年齢による合唱練習を通して、学年を超えてお互いの良さを認め合い望ましい人間関係を築くとともに、共に向上しようとする意欲と態度を育てる。

取組の具体的内容 『縦割り学級合唱練習』

各学年・学級ごとの縦割りをつくり、各学級で合唱祭に向けて練習してきた成果を発表し合い、その後、自己評価・相互評価する。

取組の課題・創意工夫 『評価カードの活用』

学年練習においても、縦割り練習においても「評価カード」を活用してお互いの良い点・改善点を「評価カード」に記入し、その結果を基に生徒一人一人が課題を見つけ改善に向けて取り組んだ。また、各学級の実行委員が課題を解決するためにどのようにすればよいか考え、練習内容に取り込んでいった。

取組の成果（効果） 『達成感』

合唱曲の決定に向け、学級の中では意見が飛び交い1つに絞り込むことからスタートした。練習において色々なトラブルがある中で、それを乗り越え、合唱祭のステージに立ち、クラス全員の気持ちが1つになって歌った達成感は、これからの学級の大きな力になったと思われる。生徒自身が、創意工夫を行い、仲間と共に同じ目標に向かう努力をしたことは大きな成果であった。

また、特に1年生は、2・3年生の迫力を目のあたりにして自分たちも頑張ろうと目標をもった。3年生は、1・2年生の模範になるよう意識して取り組んでいる。歌だけでなく、出入りや態度・服装・姿勢・指揮者の動きなども意識した。

今後の展開 『生徒会』

合唱祭は、生徒会が中心となり多くの準備を行った。生徒会が自分たちの力で合唱祭をつくり上げようとする姿勢が、生徒一人一人の意欲を高めることにつながった。生徒の自治活動を高める上で、生徒会の果たす役割は大きい。今後も、生徒会が前面に全校生徒をリードしていく流れを作っていきたい。

他校へのアドバイス 『環境づくり』

本校は、学校外の公共施設を借りて保護者や地域の方を招いて行っている。歌う環境、発表の場としては校内と違い緊張した中にも、より達成感が増すように思われる。評価や表彰においても専門家の方にも参加していただき雰囲気をつくることでより効果が増したように思う。

合唱祭の取組の様子



クラスでの練習風景①



クラスでの練習風景②



クラスでの練習風景③



合唱祭に向けてのメッセージ



クラスで団結



市民会館（会場）



審査員席



クラス目標の掲示



合唱祭の様子



表彰式



最優秀クラスの合唱



生徒会反省会